

重徳議員

令和2年度に始まったコロナ予備費は今年度で総額20兆円。ざっと国民1人あたり20万円が政府の自由に使えるポケットマネーに入ったわけです。そして今回は使った予備費をひと月後に補正予算で埋め戻すという、さらに悲惨な次元に突入しました。絶対にやめるべきです。政策を具現化するための予算提案権という行政の使命を投げ出し、国会監視から逃れ、三権分立を崩壊させ、強権的な行政府を作り出す愚かな行いです。この議場にいる全ての皆さん、目を覚ましてください。政府が使いたい放題に使ったプリペイドカードを減った分だけチャージするのが国会の役割なのでしょうか。絶対王政から議会制民主主義を獲得した歴史を暗転させる岸田政権は、歴史に残る愚かな内閣と言わざるを得ません。総理には「予備費埋め戻しは民主主義を根底から崩壊させる」との懸念の声は届いていますか。「聴く力」はどこへ行きましたか。予備費の埋め戻しだけではありません。この予算ではコロナ予備費をさらに用途拡大する「コロナ・原油価格・物価高騰対策予備費」という何でもありの予備費の創設を企図していますが、財政民主主義を完全に度外視しているという声に対し「聴く力」はどこへ行きましたか。お答えください。

岸田総理

補正予算において予備費を計上する趣旨についてお尋ねがありました。足元のウクライナ情勢に伴う原油価格や物価の高騰等については、総合緊急対策によって緊急かつ機動的に対応してまいりますが、今後の災害や新型コロナの再拡大ウクライナ情勢の長期化に伴う原油価格物価のさらなる高騰など、状況は予断を許しません。こうした不透明な状況に伴う予期せぬ財政需要に迅速に対応し、国民の安心を確保するため、今般の補正予算においては一般予備費と新型コロナウイルス感染症および原油価格物価高騰対策予備費、あわせて5.5兆円の十分な水準を確保することといたしました。政府としてはこれら予備費を適切に活用することで、国民生活を守り抜くための万全の備えを固めてまいります。